

緑 樹

12 月 号

発 行 者

清川村立緑中学校
清川村煤ヶ谷 1933

Tel. 046-288-1241

ホームページアドレス

<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori->

「地域の熱い思い」

校長 松田 拓也

通勤途中の美しい山々の木々もすっかりと紅葉し、冬の訪れを感じさせる季節となりました。

さて、緑中学校区学校運営協議会をご存じでしょうか。これは、清川村教育委員会が子ども達の輝く未来を創るために、学校・家庭・地域が総掛かりで取り組むコミュニティ・スクールを昨年度から始めたことにより、その中核を担う組織として位置づけられたのが学校運営協議会です。この協議会は、年に三回実施しており、地域の方十一人と幼稚園・小学校・中学校の職員九人で構成され、学校で困っていることの解決や村の抱える課題の解決に向けて話し合うとともに、三校の教育目標、経営方針の承認等も行っています。



昨年度は、コロナ禍であったため、十分に話し合う時間が持てませんでした。十一月二十五日に実施

した学校運営協議会では、どんな子どもを育てたいのかなどの共通の目標や課題について一時間以上にわたり熟議（熟慮と議論）を重ねました。「郷土愛を持った子どもを育てるにはどうすればよいか」「地域の大人が参画しやすい学校づくりはどうするか」「世代を超えた地域のつながりをもつには」などについて熟議をしました。中でも「子どもの命を守る取組」については時間を多く割き、具体的に下校時の見守りの仕方や村の広報への掲載、防災無線による呼びかけなどいくつかのアイデアも出されました。

熟議を通して、これまでも学校に対して協力的だと感じていた地域の皆さんが、子ども達の将来について熱い思いを持ち、活動されていることがよく伝わってきました。まさに清川村の教育大綱にある「子どもは村の宝」という言葉の通りだと実感しました。そんな熱い思いをもった皆さんと一緒に、理想の学校づくりに励んでいきたいと改めて思いを強くした学校運営協議会でした。

リーダーのバトンは2年生へ 新専門委員長の抱負

十一月の後期より生徒会活動の中心が二年生に移ります。各委員会の委員長が決まりましたので、それぞれの抱負を紹介します。

◆学級委員会 K. I.

私は、前期で務めた経験を生かして、より良いクラスにしていきたいです。学級委員長として自覚を持ち、クラスを引っ張っていきけるよう頑張りたいです。

◆図書委員会 I. K.

私は全校生徒の皆さんに、本により親しんでもらいたい、本の魅力を知ってもらえるように、みどりホールを読書を楽しめる場所にしていきたいです。そのため委員会活動を活発に行っていきたいです。

◆放送委員会 S. N.

私は、昨年から放送委員を務めていた経験を生かし、聞き取りやすい放送をし、聞いている人達に楽しんでもらえるように頑張っていきたいです。そして、他のメンバーと協力し、一人一人が支え合えるような放送委員会にしていきたいです。

◆保健委員会 T. H.

私は、緑中学校を清潔で安全な

場所にすることを目指したいです。そのために、委員会活動の中で日々の衛生チェックなどを強化していきます。最近では新型コロナウイルスが収まってきましたが、皆さんが油断することなく学校生活を過ごせるように活動を進めます。

◆ボランティア委員会 A. Y.

私は、前期のボランティア委員会

体験から学んだ福祉人権体験学習

十一月十六日に社会福祉協議会の皆さんをお招きし、人権福祉体験学習を行いました。一年生は視覚障害者体験、二年生は車いす体験、三年生は高齢者疑似体験、とそれぞれ別々の体験をしました。生徒は体験を通して、ハンディキャップのある人の視点に立ち、大変さや苦労だけでなく、「この場所

に手すりがあったらいい」「この階段をスロープにしたらいい」など、日常で使う場所のバリアフリー化について考えることができました。手話による合唱と併せて、様々な方の立場を理解して共に生きる社会を目指してくれることを願っています。



で学んだことを活かしながら、副委員長をはじめとする他のボランティア委員と協力し、全校生徒が過剰しやすく親しみのある環境を作っていきたいと思えます。

課題を追求した
修学旅行

十月十九日(火)から二十一日(木)に、延期となっていた修学旅行を実施することができました。

一日目はバスで奈良公園に移動し、班別で東大寺周辺を散策しました。生徒達は東大寺の大仏に圧倒されていました。

二日目は北野天満宮、金閣寺、清水寺、伏見稲荷を見学しました。それぞれ班ごとに昼食を取り、お土産を購入していました。伏見稲荷では、ほとんどの生徒が千本鳥居の道を頂上まで登るなどして、充実した二日目を過ごすことができました。

最終日は嵐山へ移動し、天龍寺で座禅を体験して心を清めました。その後、最後の班別散策を行い、昼食を取ってから京都駅に向かい、帰路につきました。



今回の修学旅行は、新型コロナウイルスの影響で実施に至るまで不確定要素が多く、保護者や多くの方々にご心配をおかけしましたが、皆様の感染症対策の取組のおかげで無事に修学旅行を実施することができました。本当にありがとうございました。

【生徒の感想より】

◇歴史の勉強ができた。最終日の座禅体験で、座禅が何のためにあるか、どのように広まったかなど

村内で経験した
職場体験学習

九月に実施を予定していた二年生の職場体験学習がコロナ禍での延期を経て、無事に行うことができました。昨年と同様、村内での体験になりましたが、受け入れてくださった体験先のご協力もあり、働くことがどのようなことなのか、生徒は理解できたのではないかと思います。

【生徒の感想より】

私は、どんな仕事に向いているのか分からなかったのですが、今回の体験をさせていただいたことで勉強になりました。はじめは緊張しましたが、終わってみたら本当に楽しくて、時間があっという間に過ぎてしまい、もっと働きたかった、早く仕事についてみたいと

深く知ることができました。

◇奈良の建物を実際に見て、その場所の雰囲気や歴史を感じ取ることができた。特に東大寺の大仏の大きさは圧倒された。座禅を通して、心を清めることができた。

◇歴史ある東大寺を見学して、木造建築や建造当時の人たちの「すごさ」を学んだ。また、清水寺や金閣寺を回り、つくった人の思いを感じることができた。

今回の職場体験学習は生徒にとって働くことがどのようなことなのかを理解するよい機会であり、貴重な体験になったことと思います。また、コロナ禍の状況の中で、受け入れてくださった事業所の方々に感謝申し上げます。清川村の地域の温かさが感じられた職場体験学習になりました。



合唱を披露した
中文連芸術祭音楽発表会

十月二十四日(日)に厚木市文化会館で厚木愛甲地区中学校文化連盟芸術祭音楽発表会が行われました。文化発表会の全校合唱と同じく、「信じる」と「虹」を披露しました。一・二年生は初めての参加で緊張した様子も見えましたが、とても楽しんで合唱に臨んでいました。三年生は堂々とした立ち姿で全体を引っ張ってくれました。また、他校の発表も素晴らし

く、生徒たちにとつてとてもよい経験になりました。



活躍する緑中生

交通安全ポスターコンクール

清川村交通安全対策協議会長賞

一年 A. K. さん

二年 S. N. さん

厚木警察署管内交通安全協会清川支部長賞

一年 M. K. さん

二年 A. Y. さん

バレーボール部

十一月六日、県央ブロック秋季大会に出場しました。一試合目の玉川中学校との試合に勝利するも、二試合目の光丘中学校、三試合目の海老名中学校に敗れ、敗退となりました。

バスケットボール部

十一月七日に、県央ブロック秋季大会予選に出場しました。一回戦の南林間中学校に敗れ、悔しい結果となりました。

12月の行事予定

- 1日(水) 学校朝会
学級・専門委員会
- 2日(水) 人権アンケート
学校保健委員会
- 3日(金) 代表委員会
- 13日(月) 職場体験学習発表会
- 14日(火) 三者面談(1・2年)
- 15日(水) 三者面談(1・2年)
- 16日(木) 三者面談(1・2年)
- 22日(水) 書き初め練習会
セレクト給食
- 23日(木) 弁当持参
芸術鑑賞会
- 24日(金) 大掃除
終業式

1月

- 11日(火) 始業式
- ※ 予定は、変更になる場合があります。